

低LET放射線

低LET放射線 ていえるいーていほうしゃせん

電離性放射線が物質中を通過する際、飛程の単位長さ当りに平均して失うエネルギーを線エネルギー付与（LET：Linear Energy Transfer）といい、物質に与えたエネルギーを $\text{J} \cdot \text{m}^{-1}$ で示す。（LET）が低い放射線を低LET放射線という。各種の放射線の内、X線、 γ 線はLETが小さいので低LET放射線といい、 α 線、中性子線、その他重荷電粒子、核分裂破片のLETは大きいので高LET放射線という。物質のLETが同じであっても放射線効果に差があることがある。

<登録年月>

1998年02月
